

大学・高専機能強化支援事業
(学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)【支援1】
事業概要

令和5年7月時点

1. 基本情報

選定年度	令和5年度	学校コード	F113310103652
大学名	東京通信大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	東京都
大学全体の総収容定員数	4,000名	※令和5年5月1日時点	
学部学科 組織構成	情報マネジメント学部（情報マネジメント学科）、人間福祉学部（人間福祉学科）		

2. 事業概要

国際的な視野とデジタル活用の視点から、社会を取り巻く課題を的確に捉え、具体的に解決できる実践的能力を持つ先鋭的なDX人材を育成し、デジタル社会の基盤となるような知識・能力を教育する体制の充実を実現するため、令和6年度に入学定員850名、3年次編入学定員300名の収容定員4,000名からなる情報マネジメント学部情報マネジメント学科の収容定員を増加する予定である。**オンラインによる産学官連携を特色としたオンライン少人数制ゼミ**を新設する。国内外の多様な学生と教員および企業が連携し、本学の学習管理システムを題材としたシステム提案や地域の課題解決に向けた取組等の実践的なテーマを設定し、学生や教員、企業間で双方向に提案・評価・フィードバックを行う少人数制ゼミ科目を新設し、**オンラインで理論から実践まで体系的に学べるカリキュラム**を編成することとしている。また、国際的な視野を養うために海外大学との連携授業や海外研修等も実施する予定である。

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和6年度				
認可申請・届出予定	令和5年度	※既に申請・届出している場合はその年度を記入			
改組内容	既存学科の収容定員の増加				
設置等組織名	情報マネジメント学部情報マネジメント学科				
設置等組織の学位分野	工学関係				
当該学部等の所在地	東京都新宿区				
入学定員	600名				
収容定員	2,000名				
入学定員の増加数	550名				
他学部等の入学定員の減少数	0名				

※学部・学科を新設する計画である場合は、当該学部等の所在地欄は予定所在地を記入。

※入学定員には編入学定員を含む。

**<基本情報>**

改組予定年度：令和6年度
改組内容：既存学科の収容定員の増加
設置等組織名：情報マネジメント学部情報マネジメント学科
入学定員：【R6増員】改組前600名 → 改組後1,150名
所在地：東京都新宿区

<新設や改組の特徴・コンセプト>

第一線で活躍するIT企業と連携した少人数制ゼミや海外大学との連携授業をオンラインで実現！
「国際性」「地域性」「デジタル活用力」を兼ね備えた、国内外で活躍する先鋭的なDX人材に。

<改組後の教育内容>

DX人材に必要な知識に加え、「国際性」と「デジタル活用力」を学べる科目を新たに追加する。

* 国際的な視野を持ち、社会とデジタル活用（データやAIの活用方法等）の関係性を理解し、AI活用のための素養を身につける。

└ (例) 地政学、宗教学、国際政治、経済学、AIと社会、AIと教育、グローバルコミュニケーション等

* デジタル社会を様々な観点で捉え、それらを解決できる実践的能力を養う。

└ (例) オンライン少人数制ゼミ（海外大学、地域、企業との連携授業）、企業IT戦略、DXと組織変革、デジタルアートとメディア等

<学生確保の見通しを備えた計画>

* 平成30年度の開設年度以降、入学定員を大きく上回る志願者数で推移している状況であるが、更に国内外で活躍できるDX人材を育成するため、「国際性」と「デジタル活用力」を身につけるための科目群を新たに新設することで、よりオンラインで実践的な学びを享受したい学生層にアプローチする計画である。

<学修目標・教育カリキュラムの編成・入学者選抜体制の実施計画>

* 学習目標：国際的視野とデジタル活用の視点から、社会を取り巻く課題を的確に捉え、具体的に解決できる実践的能力を身につける。

* カリキュラム編成：情報の科学・技術分野、社会学及び隣接分野の情報技術の適用対象分野、経営・経済学分野、数理・データサイエンス・AI分野、産学官でのPBL授業及び海外大学との連携授業や研修プログラム等

* 入学者選抜方法：批判的思考力や文章力等を課題作文、英語力等は提出書類等で選抜する。

<人材育成目標と実現に向けた整備計画>

* 人材育成目標：国際的視野とデジタル活用の視点から、社会を取り巻く課題を的確に捉え、具体的に解決できる実践的能力を備えた先鋭的な人材を育成する。

* 整備計画：多くの学生がオンラインで国内外の地域とスムーズにやりとりできるシステム基盤の整備・増強のほか、海外の学生とやり取りを行うための多言語対応や国内外の学生から問合せを24時間受け付けるためのChatGPT等のAIを活用した学生支援体制の構築等を実施する。

さらに、学生自身が情報技術を扱うための環境構築や学習継続率を高める仕組み、社会人受け入れをスムーズに実施するための環境の整備を行う。

<実務経験のある教員等による授業科目を配置計画>

* 令和6年度時点で、情報通信や研究機関、専門サービス分野等の実務経験者で構成されており、実務経験を生かした授業科目を中心に構成している。

<寄附金、研究費等の外部資金の獲得計画>

現行の教育環境、教育手法、業務環境は、個々の学習者のニーズへの対応が不十分、及び教職員の業務効率向上が必要、という課題がある。これらの問題を解決するために、「生成型AIの活用による高等教育におけるDXの推進」の研究プロジェクトを進める予定。さらに、学生の学習継続率を強化するために、オンライン大学の学習環境にメタバースを導入するなど、オンライン学習環境の効果・効率・魅力を向上させるための研究開発も進めていく。

<自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施・多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画>

* 他機関連携：第一線で活躍する情報通信分野のIT企業や海外大学、国内の地方自治体と連携した授業を実施する。

* 教育体制：国内外の学生がオンラインで双方向にやり取りできる仕組みを構築するために、HPやLMS、ポータルサイト等の改修やそれらを下支えするシステム基盤の増強、外国語に対応できる教職員等の体制を構築する。

* 入学者の確保：本学科は既に社会人や海外の学生等の多様な学生がいるため、今後もHPやWEB広告、進学媒体、TVCM等の広報を幅広く活用していく。